

# 令和5年度 第1回正木小学校学校運営協議会 報告

実施日時	令和5年5月11日(木) 9:30~11:30
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫賀 常夫 (自治会長)</li> <li>・西川 雅彦 (正木コミュニティセンター運営協議会会長)</li> <li>・吉田 慧 (ひかり泉こども園園長)                      ・立花 眞 (学識経験者)</li> <li>・豊島 裕香 (主任児童委員)</li> <li>・小川 真由美 (交通安全協会正木支部長)</li> <li>・小林 一将 (正木交番長 代理出席)                      ・面松 幸恵 (子ども会育成会会長)</li> <li>・古賀 礼奈 (スポーツ少年団育成会会長)</li> <li>・花村 伸二 (校長)                      ・石垣 治彦 (教頭)                      ・浅野 由香 (教頭)</li> <li>・羽島市教育支援センター 岩田 陽介 (係長)</li> </ul>
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 校長挨拶 自己紹介 会長副会長選出 委嘱書交付 市教委挨拶 会則説明 日程説明</li> <li>2 授業参観 (第2校時)</li> <li>3 教育活動の説明 質疑応答 意見交流</li> </ol>
記録	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 校長挨拶 日程説明</li> <li>2 授業参観 (第2校時)</li> <li>3 教育活動の説明 質疑応答 意見交流</li> </ol> <p><b>【教育活動の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営全体構想について 正木小学校の教育目標「夢やめあてに向かって 仲間とともに 進み続ける子」 夢やめあてがもてる支援、危機管理・危機への対応。授業力の向上、人権意識の醸成、教育相談体制の充実、自己肯定感・自己有用感を高めるために。</li> <li>・働き方改革</li> <li>・いじめ防止基本方針の概要 等</li> <li>・運営協議会の承認を得る。 ( )</li> <li>・少しでも危険のない通学路を地域でも考えたい。</li> <li>・児童の様子の引継ぎは大切で、スムーズに子ども達に対応できるように願いたい。 ( )</li> <li>・1年生の子ども達の元気な様子が見られてよかった。</li> <li>・少人数指導は、基礎的なことがじっくりと学べてよい試みである。 ( )</li> <li>・学校がいろいろなことを抱え込まされていた時代から、問題が少しずつ整理されつつある。その中で、地域や保護者の協力が重要になってきている。子ども達が抱える問題をPTAや学校運営協議会の委員がしっかりと考えていくことが必要である。</li> <li>・環境が整っている。市としての整備ではICTを活用できる環境や児童机、また、児童の力でトイレや廊下の雑巾等もきれいに整頓されていた。</li> <li>・明るい雰囲気を作り上げている先生たちが多く、子ども達によい影響を与えていると感じた。 ( )</li> <li>・授業では、視覚化がされていて子ども達に分かりやすく工夫されていた。</li> </ul>

( )

- ・集中して取り組む姿が見られた。反応、返答がしっかりしている子ども達がたくさんいる。日々の授業づくりのたまものである。反応や返答ができることは、元気に挨拶できる子ども達の姿にもつながる。地域の見守りの方から、挨拶がよくできている。優しい声掛けができる子がいるということを知った。
- ・安全協会として昨年度、通学路の看板や安全シールなどの協力を行なった。登下校の通学指導を今後も行っていきたい。

( )

- ・子ども達が気軽に「交番の人」に声を掛けてくれる。外に出て、子ども達や地域の人に知ってもらう活動が必要だと感じている。
- ・学校も警察も似ていて、あれもこれもやらなくてはならない状況がある。ネットいじめなど、新しい状況にも対応しなくてはならない。情報交換、連携を密にし警察も協力していきたい。

( )

- ・通学班に人数の多い班、少ない班があり、統廃合していけるとよい。
- ・タブレットの活用は必要だが、視力の悪化も心配である。

( )

- ・低学年の子が元気に挨拶できていた。高学年の教室はロッカーの中も整理整頓されていて、机も気持ちよく並んでいて、マナーを守って生活していることを感じた。学習以外でもしっかりと指導されている。
- ・休み時間、異学年かかわって遊ぶ姿があった。先生も一緒に遊んでいて、先生との距離が近いこともいじめを防ぐことにつながる。

( )

- ・正木町は、コミュニティーの中で子ども達をよく見守っている地域である。地域全体で見守ることが、子ども達の安全、健やかな成長を促すことになる。
- ・いろいろな状況の中で相互理解がうまくいかないことで、軋轢がうまれることがあるが、円滑なコミュニケーションができるよう、親としても子ども達が意識をもてるように働きかけていきたい。

( )

- ・自治会として、青パト、見守りの講習会を行った。その中で、見守っている人もけがのないよう気を付けることが必要であると指導を受けた。今後も地域全体で見守っていただけるように働きかけたい。